

新刊案内

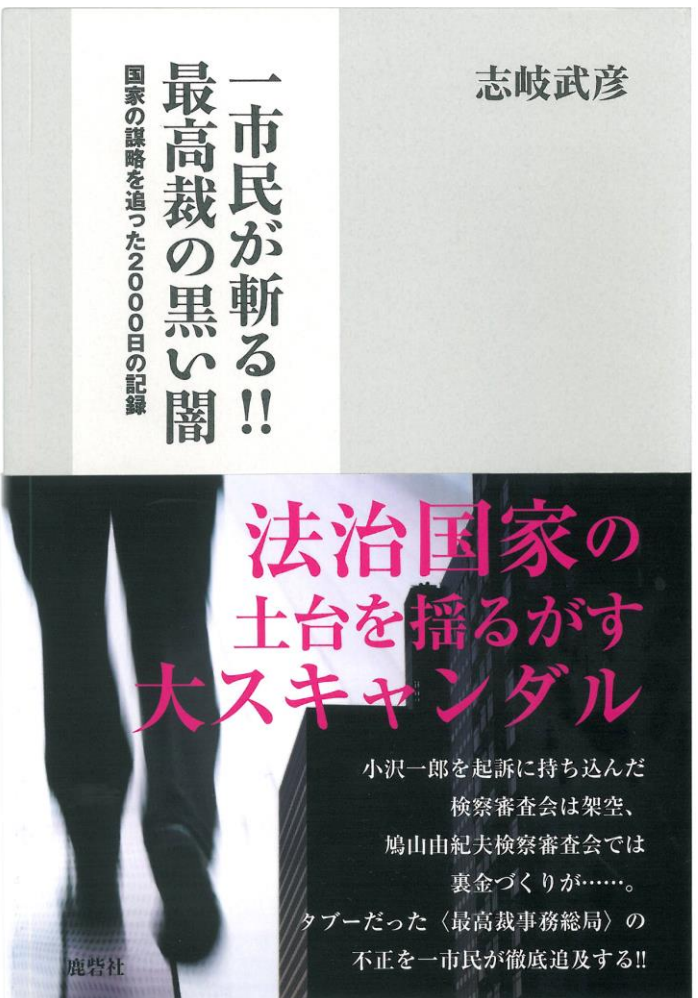
『一市民が斬る!! 最高裁の黒い闇』 国家の謀略を追った2000日の記録

2010年、小沢一郎氏を起訴に持ち込んだ東京第5検察審査会
は、架空の審査会による最高裁事務総局の謀略だった。法治国家の
土台を揺るがす大スキャンダルを情報公開請求で入手した膨大な資
料で裏付けた。

不透明な経理処理から、検察審査員を選ぶ「くじ引きソフト」の
からくり、会計検査院による情報隠しまで、小沢一郎事件とは何で
あったのかという疑問に、まったく新しい視点から切り込んだドキ
ュメンタリー。

(詳細は、http://saikousainondai.com/supreme_court/8989/)

著者紹介・志岐武彦。1942年、京城市（現ソウル）生まれ。2004
年、旭化成を役員で退職した後、最高裁事務総局と検察審査会の問題を調
査するようになった。著書に『最高裁の罠』（k&kプレス）がある。



発行所：鹿砦社（ろくさいしゃ）／著者：志岐武彦
定価：本体 1,400 円＋税